

大塚中学校 オープンハウス 結果概要

オープンハウス開催概要

大塚中学校の皆さんには各教室のプロジェクターに映し出された資料をもとに、なぜ公共施設マネジメントが必要なのか、今年度大塚地区で開催している「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」について、学びました。授業の後半では、将来の大塚地区を考えるグループワークなどを行いました。

日時

令和3年12月10日(金) 4時限目
(午前11時30分から午後0時15分)



参加者

全校生徒(131名)

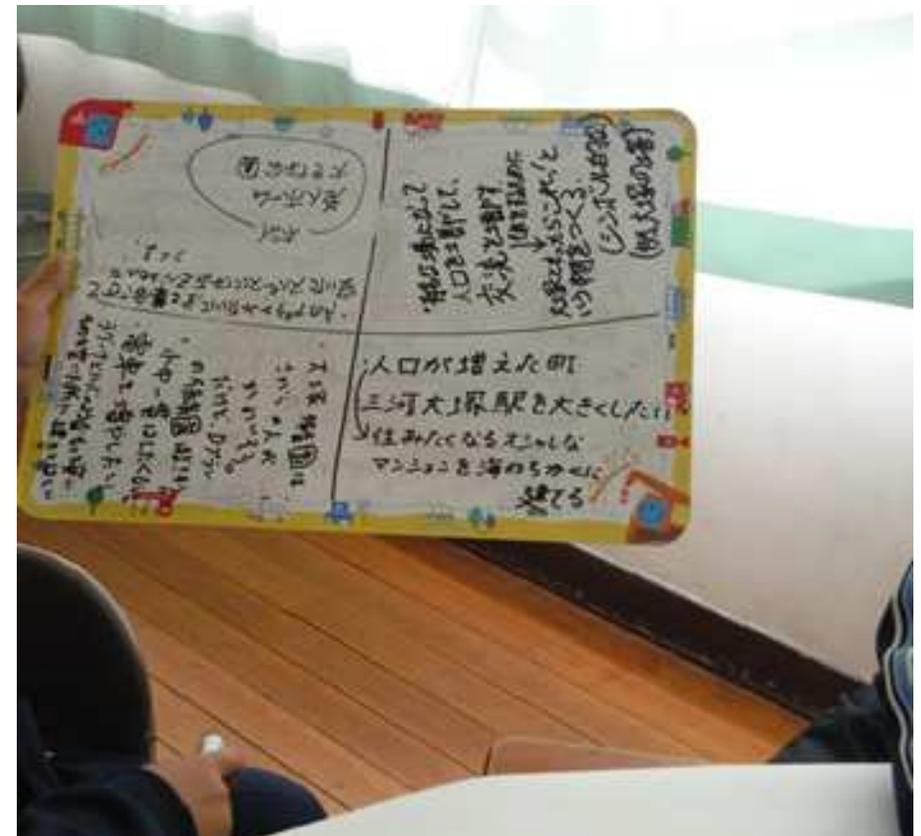
内容

- 1 「公共施設マネジメント」ってなに？
- 2 大塚地区の理想の公共施設ってなんだろう？
- 3 グループワーク
- 4 グループ発表
- 5 市役所からのお願い



大塚地区の理想の公共施設ってなんだろう？

“こんなまちになったらいいな”という将来の大塚地区の理想像、その理想像に近づくために必要なもの(建物・サービス等)の2つについてそれぞれ考えました。



1年生から出た意見(一部抜粋)

“こんなまちになったらいいな”という将来の大塚地区の理想像

分類	ご意見
多様な交流	たくさんの人と交流したい
	様々な世代の人が関わることができる
	様々な人と友達になれる
	子どもから大人まで協力できる
楽しく過ごすことができる	子どもから高齢者まで楽しく過ごせる
	お年寄り目線で楽しく過ごせる
笑顔があふれる	子どもからお年寄りまで笑顔になれるまち
子どもが生活しやすい	子どもが仲良くできる
	遊べる場所がほしい
誰にとっても住みやすい	周りから「住んでみたい」と思われるまち
	差別がなく過ごしやすい
安全安心	安全に生活できる(交通安全、防犯)
	感染症対策が万全
環境保全	自然豊かなまち
まちをきれいに	海がきれい
	ゴミのないまち
人口増加	人口が増えてほしい
買い物が便利	車を使う量が少なくなるよう周りにお店がほしい
	買い物しやすい
利便性の確保	移動しやすい(電車、バス)
既存施設の充実	楽しい建物がたくさんあるまち
	大塚駅を充実したい

理想像に近づくために、必要なもの(建物・サービス等)

分類	ご意見
施設の複合化	小中学校、児童クラブを複合化する
	公共施設を複合化したい
	小中学校を1つにする
複合化への懸念	小中学校の複合化はしない方がよい
既存施設の充実	公園、児童館を充実してほしい
災害にも耐えうる施設	災害に強い施設
誰にでも使いやすい施設	お年寄りでも使いやすいよう段差を解消してほしい
道路環境の整備	信号を長くしてほしい
	歩道がほしい
公共交通機関の充実	駅に停まる電車の本数を増やしてほしい
	新幹線が停まってほしい
	大塚駅のサービスを充実してほしい
スポーツ施設の整備	スポーツジムをつくる
	スポーツ公園をつくる
遊べる場所の確保	多世代で遊べる場所がほしい
多世代交流	楽しくお年寄りと遊ぶこと
娯楽施設の充実	映画館がほしい
商業施設の充実	大型ショッピングモールがほしい
人口増加	マンションを増やす
高齢者支援	老人ホームを増やしたい
まちをきれいに	海、川、道路をきれいにしたい
シティーセールス	大塚の名産品をつくる

2年生から出た意見(一部抜粋)

“こんなまちになったらいいな”という将来の大塚地区の理想像

分類	ご意見
多様な交流	多世代で関わり、交流しやすい 外国人の人たちと交流できるまち
楽しく過ごすことができる	仲のよいまち
笑顔があふれる	笑顔があふれている
誰にとっても住みやすい	子どもからお年寄りまで過ごしやすい 障がいのある人でも安全に暮らせるまち
子育てしやすい	子育てしやすい
誰でも意見が言いやすい	若い世代の人が意見や要望できる 理想のまちに近づくため案を出し協力できる
安心安全	安全・安心できるまち(防犯)
災害対策の充実	災害に強いまち
環境保全	環境にやさしい 自然が豊か
まちをきれいに	キレイに住みやすいまち
人口増加	人口が増えてほしい
買い物が便利	買い物が便利
利便性の確保	移動が便利なまち
通学がしやすい	通学がしやすい
誇れることがある	誇れることがあるまち

理想像に近づくために、必要なもの(建物・サービス等)

分類	ご意見
施設の複合化	保育園、児童館を複合化して小さな子と遊びたい 小中学校を複合化して異学年で交流したい
利用しやすい施設配置	小中学校を大塚の中心に建てたい 大塚駅の近くに公共施設を増やす
多世代交流施設の整備	多世代で遊べる建物の整備
既存施設の充実	公民館を大きくしたい
多世代交流	子どもの頃からお年寄りと交流する機会を増やす 中学校で戦争の時の話などを聞く
様々な交流の場の創出	公民館に小中学生が集まり、地域の人と関わる 大塚の人たちの交流会などで仲良くなる
遊べる場所の確保	児童クラブで年齢関係なく遊びたい 遊ぶ所、公園がほしい
若者の居場所確保	働く若い世代の集合所
若者が住みやすいまちづくり	若者向けの店舗がほしい
相互理解	介護体験をする
公共交通機関の充実	バスの増便
道路環境の整備	信号機の設置
スポーツ施設の整備	スポーツができる施設
商業施設の誘致	商業施設の誘致

3年生から出た意見(一部抜粋)

“こんなまちになったらいいな”という将来の大塚地区の理想像

分類	ご意見
多様な交流	たくさんの人と交流したい
	多世代のいい繋がりが続いていくまち
	人種、国籍関係なくみんな仲がよいまち
	幼児からお年寄りまで交流ができるまち
	多世代で知識を伝い合えるまち
笑顔があふれる	笑顔があふれる
子どもが生活しやすい	子どもが元気に過ごせる
誰にとっても住みやすい	どの年代の人でも過ごしやすいまち
子育てしやすい	子育てがしやすいまち
地域のつながり	地域の人で1つになれる
	住民同士で助け合いながら過ごせる
居場所の確保	自分の居場所がある
安全安心	安全・安心に生活できるまち
	安全
買い物が便利	買い物が便利
利便性の確保	移動がしやすい
環境保全	自然あふれるまち
人口増加	人口が増えてほしい
観光の発展	観光で栄える
施設の充実	便利で大きな施設のあるまち

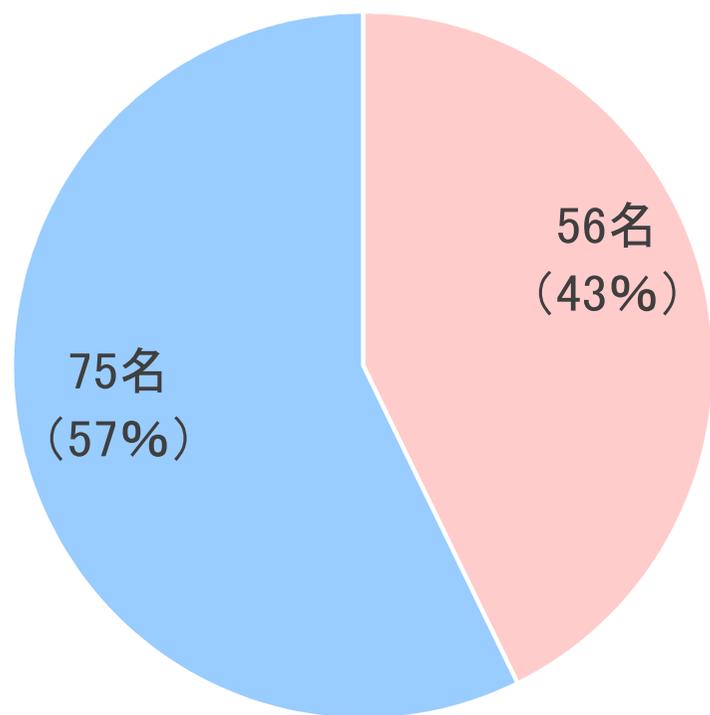
理想像に近づくために、必要なもの(建物・サービス等)

分類	ご意見
施設の複合化	小中学校を複合化して交流の場を設ける
	学校と公民館は複合化する(昔の話を聞きたい)
	公民館と保育園を複合化したい
複合化への懸念	今の状態を維持する。複合化しない方がよい
既存施設の充実	中学生でも公民館で遊びたい
利用しやすい施設配置	施設を大塚の中心に建設する
誰でも利用しやすい	どんな人が来ても、快く迎え入れてくれる施設
子どもが利用しやすい施設	子どもが気軽に行ける施設の整備(児童館)
新しい施設の建設	多世代交流センターがほしい
	観光施設を増やす
遊べる場所の確保	保育園児から中学生が一緒に遊ぶ環境
	年齢に合わせた遊具が設置された公園
若者の居場所確保	公民館を若者が使いやすい施設にしたい
多世代交流	保育園児とお年寄りの交流を深めたい
	昔の事をお年寄りから聞きたい
	児童クラブや公民館で子どもとお年寄りが遊びたい
	小学生が中学生から学べるような環境(複合化)
様々な交流の場の創出	交流の場としてイベントを開催する(クリスマス等)
道路環境の整備	道路の整備
公共交通機関の充実	大塚駅の拡充
企業誘致	企業誘致
商業施設の誘致	商業施設の誘致
魅力あるまちづくり	駅周辺が発展してほしい
シティーセールス	マスコットキャラクターの制作

中学生向けアンケート

生徒には「通学距離を遠く感じることはありませんか」と、現在ワークショップにおいて提示している4つの再配置プラン案について、どれがよいかをアンケートで回答してもらいました。

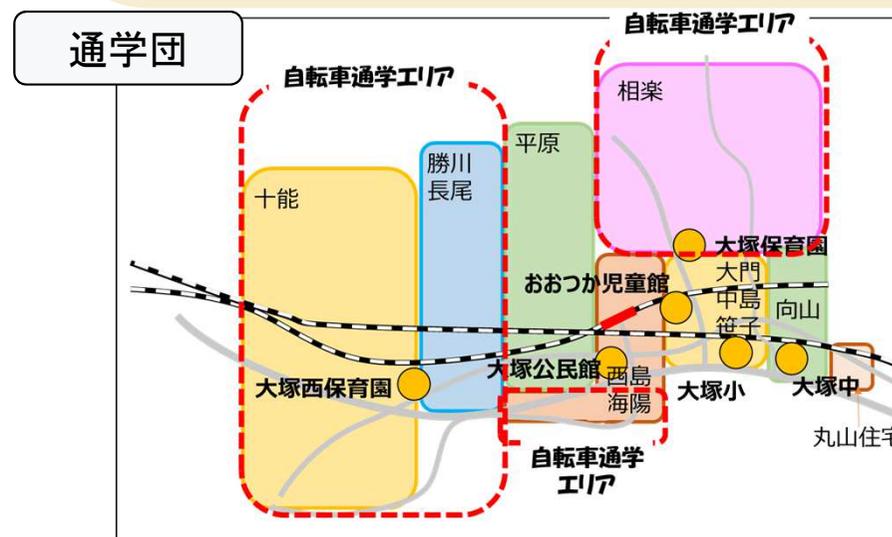
通学距離を遠く感じるか



■ はい ■ いいえ

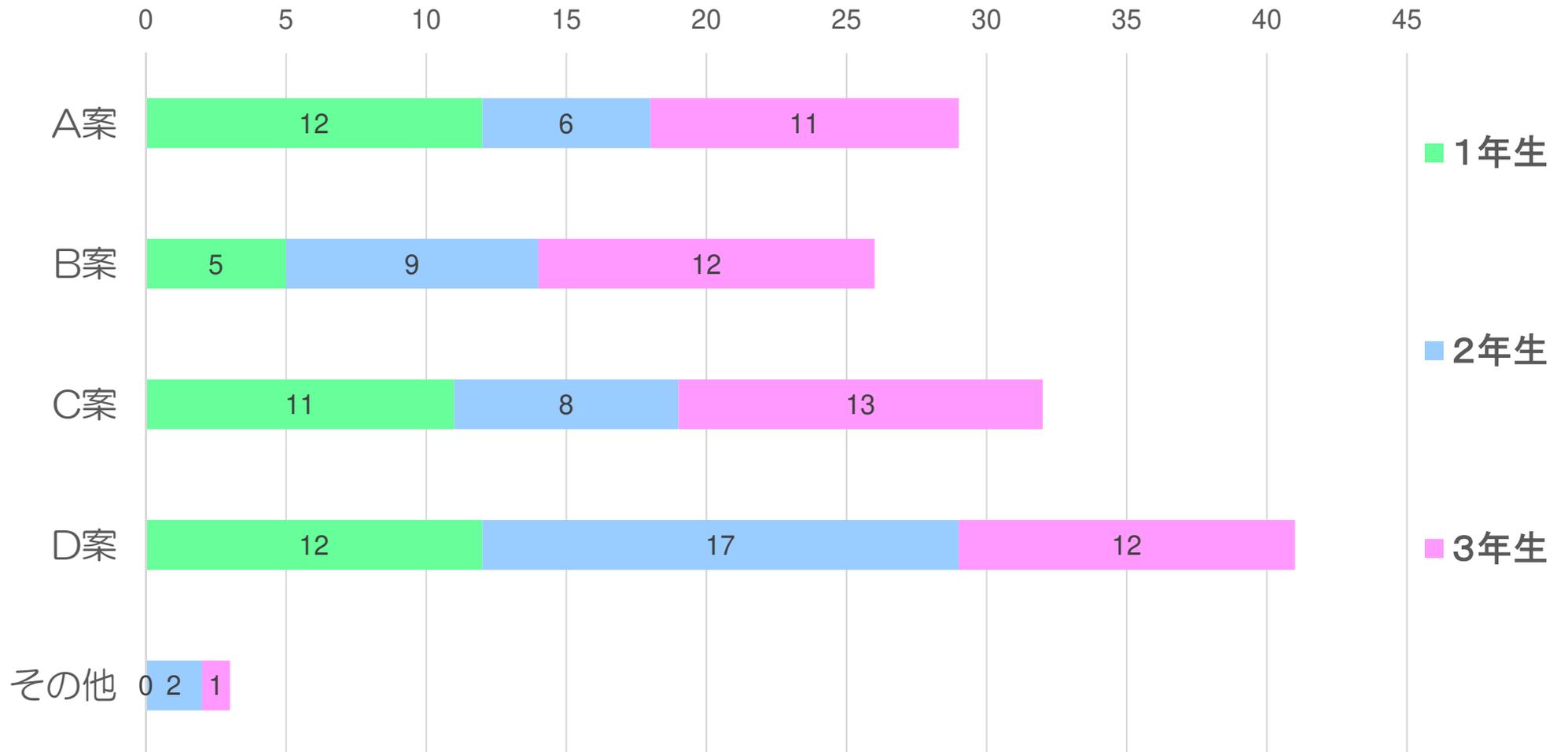
→「はい」と答えた方で、通学団はどこですか。

- 十能 16名 / 20名 (80%)
- 勝川・長尾 7名 / 10名 (70%)
- 平原 17名 / 18名 (94%)
- 大門・中島・笹子 2名 / 30名 (7%)
- 西島・海陽 8名 / 21名 (38%)
- 向山 1名 / 24名 (4%)
- 相楽 5名 / 6名 (83%)
- 丸山住宅 0名 / 2名 (0%)



問：公共施設の再配置プランで、どれが良いと思いますか(中学生)

D案が若干多いものの、どの案にも満遍なく評価が集まりました。



※ アンケートの回答をもとに作成

問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（1/3）

選択	分類	理由
A案	多様な交流の促進	世代間交流が可能となるため。
	利用しやすい施設配置	場所がいい。
		公民館と中学校の集合で親の負担を減らすことができる。
	施設の集約化	施設が集約できるため。
	保育園、中学校の分離	中学校と保育園の合流は少し抵抗がある。
	中学校の維持	中学校が移動しないから。
中学校が残るから。		
建替え費用の抑制	費用面で負担が少ない。	
B案	多様な交流の促進	世代間交流が可能となるため。
	利用しやすい施設配置	場所がいい。
		東西に施設ができるのがよい。
	施設の集約化	施設が集約できる。
		地域の真ん中に施設が集まるのがよい。
		豊川市でも小中学校がくっついているところがあり、違和感がなかった。
		子供の人数が少ないから。
	集約化に対する懸念	保育園と学校を併せると問題が起こりそう。
		保育園を無くして小中を一緒にすると上下関係がひどくなる。
	適切な施設配置	集まり過ぎもよくない。
	保育園の集合	保育園が集合する方がいい。
		保育園を一つにすることにより共通の話題が増える。
	保育園の維持	大塚西保育園は残したい。
		西保育園は近いので残してほしい。
避難所の確保	西大塚の避難所が確保できる。	
	避難所は多い方がいい。	
中学校敷地の活用	一番広い大塚中が空くことで様々なことに活用できる。	
その他	保育園以外はよいと思う。	
	種類ごとに分けた方がよい。	

問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（2/3）

選択	分類	理由
C案	多様な交流の促進	世代間交流ができそう。
		保育園と小中学校が交流できることが魅力。
	施設の集約化	施設が集約できる。
		保育園の子が学校がどんなところか分かる。
	集約化に対する懸念	不審者も来るから公民館と学校などは別にしたい。
	利用しやすい施設配置	場所がいい。
		地域の真ん中も施設があるのがよい。
		送迎に便利。
		保育園の送迎が便利になりそう。
		中学校が近くなる。学校とそれ以外に分けられたらよい。
建替え費用の抑制	公民館は駅から近くがよい。	
	公民館は今の場所がよい。保育園とか一緒だと送迎が楽。新しい体験も出来る。	
その他	費用が抑えられる。	
		いろんな所がよりよい地域になりそう。

問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（3/3）

選択	分類	理由
D案	多様な交流の促進	世代間交流ができそう。
		小学校と中学校で交流ができそう。
	利用しやすい施設配置	場所がいい。
		地域の真ん中に施設ができる。
		保育園の送迎が便利になりそう。
		園を中心にすることで親の負担を少しでも減らすことができる。
	適切な施設配置	集まり過ぎもよくなく、バラバラもよくない。
		地域の真ん中で、ほどよく機能が分散しているとよい。
		保育園はどっちかに集めると遠くなる人が出るから。
	保育園、学校の分離	保育園と学校の複合化はあまり良いと思わない。
		中学生が落ち着いて生活出来るから。
		あまり保育園児とふれあう気はない。
	跡地利用	大塚保育園の跡地は避難場所に適しているから。
		小学校を崩して新しい体育館を建てればよい。
その他	どれも嫌だと思ったが、保育園の意見は賛成だった。	

保護者向けアンケート

生徒の皆さんには「大塚地区全体で考えていくことが重要であるため、授業の内容や学んだことを家族に話してほしい」と伝えました。あわせて、子育て世代の皆さんのご意見を伺うため、生徒の保護者の皆さんにチラシを配布し、アンケートへのご協力をお願いしました。なお、アンケートでいただいたご意見については、資料「大塚地区 オープンハウス(パネル展示型説明会)結果概要」において、まとめていますのでご確認ください。

令和3年12月10日

大塚中学校 保護者の皆さまへ

蒲郡市 総務部 公共施設マネジメント課

蒲郡市では、今後の社会情勢の変化を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に過大な負担を残さないため、施設保有量や管理方法等を見直し取り組みを行っています。中でも、地域住民の皆さまが主な利用者となる公共施設(小中学校・公民館・保育園・児童館)については、ワークショップ等でご意見を伺いながら将来の施設配属や使い方を示す「地区個別計画」の策定を進めています。

本日、大塚中学校の先生方にご協力いただき、地区の将来を担う中学生の皆さまを対象に「大塚地区の公共施設」をテーマに出張授業を行い、将来地区内にあったらいい公共施設について様々なご意見をいただきました。将来にわたって住み続けたい地域を実現できる計画とするためには若い世代、子育て世代の方のご意見が非常に大切であると考えています。計画検討の参考とするため、以下のアンケートにご協力ください。

アンケート

中に記載の取り組みの背景等をご確認のうえ、以下のQRコードよりご回答ください。

Q1) あなたの年齢をお聞かせください。

[10～20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上]

Q2) あなたのお住まいの地区についてお聞かせください。

[相楽町 ・ 東大塚 ・ 西大塚 ・ 海陽町 ・ その他]

Q3) 利用頻度の高い施設を教えてください。(複数回答可)

[大塚保育園 ・ 大塚西保育園 ・ おおつか児童館 ・ 大塚小学校
大塚中学校 ・ 大塚公民館 ・ ほとんど利用しない]

Q4) 公共施設の再配置プラン案について、あなたの理想に最も近い案はどれですか。(中面をご確認ください) また、その案を選択した理由を教えてください。

理由 [A案 ・ B案 ・ C案 ・ D案]

Q5) 大塚地区にある公共施設(保育園、児童館、小学校、中学校、公民館)に関するご意見や、新しい施設でやってみたいこと等があれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。

回答期限：令和3年12月17日(金)
アンケート回答用QRコード →



取り組みの背景

蒲郡市の現状と課題

① 人口減少と少子高齢化が進んでいます

蒲郡市の人口は、約40年後の令和42年には、現在から約2万人減少し、60,961人(市目標値)になると推計されています。市全体の人口のうち年少人口・生産年齢人口が減少し、65歳以上の高齢者人口が占める割合が増えています。今後、高齢者人口割合の増加による扶助費などにかかる費用が増え、公共施設などの「モノ」にかけることのできる費用が減っていくことが想定されます。

② 時代とともにニーズが変化しています

社会構造の変化により、共働き世帯や高齢者世帯などが増えてきました。それに伴い、子育てしやすい環境づくりや高齢者支援の充実など、市民の皆さまのニーズも変化しています。ソフト(提供サービス)だけではなく、ハード(公共施設)の面からも、このようなニーズの変化に対応していく必要があります。

③ 施設の老朽化が進んでいます

蒲郡市の公共施設の多くは、人口・経済ともに右肩下がりに推移し、昭和50年代までに建設された施設が約7割が建設後30年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、今後施設の安全性を確保するため、大規模な改修・建替が必要となってきます。

④ 施設の維持・更新に多額の費用が必要で

近い将来、多くの公共施設の改修・建替が必要になると想定されています。全ての施設を同じ規模で維持し続けるには多額の費用がかかることが見込まれており、現在の蒲郡市の財政状況では、その費用をまかなうことは難しい状況です。



公共施設マネジメントとは

公共施設マネジメントとは、「質・量・投資」の3つの視点から公共施設を総合的に管理する取り組みです。先に述べたような課題を解決するため、蒲郡市だけではなく全国の自治体でこの取り組みが進められています。

「質」：時代とともに変化するニーズに対応可能な施設が、使い勝手のよい施設などで、多くの皆さまに便利に利用していただける施設づくりが必要です。

「量」：今までの公共施設は人口が増える時代に当時の需要に合わせて建設されてきました。蒲郡市の人口規模や財政状況を踏まえ、将来世代の負担とならないような施設保有量を考えたい必要があります。

「投資」：どの建物を優先的に改修・建替をおこなっていくのか、施設の安全面や今後の需要等を踏まえ、効率的に考えていく必要があります。



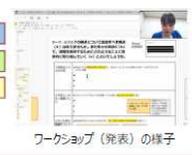
地域の皆さまのご意見を伺いながら取り組みを進めています

上記の背景を踏まえ、地域の皆さまが主に利用する施設(小中学校・公民館・保育園・児童館)については、地域住民の皆さまのご意見を伺いながら、将来の施設の配属や使い方を定めた「地区個別計画」策定の取り組みを行っています。今年度は大塚地区にて公募でご応募いただいた皆さまにご参加いただき、新型コロナウイルス対策のためオンラインでワークショップを開催しています。

ワークショップでいただいた地区の将来を考えるにあたって大切な7つの視点

- ① 多様な人々との交流
- ② 子育てしやすい環境づくり
- ③ 子ども達の居場所づくり
- ④ 生涯現役という地域づくり
- ⑤ 安全・安心
- ⑥ 利便性の向上
- ⑦ 効率的な施設配属

いつまでも住み続けたい地区、住み続けたい地区でありたい、という趣意のご意見をたくさんいただいています。(詳しくは報告とくに配布しているから版をご覧ください。)



大塚地区の再配置プラン案

皆さまから頂いた7つの視点を踏まえ、4つの再配置プラン案を作成しました。(アンケートQ4はここでは選択した案に共通する考え方) ・現在小中学校と児童館の2か所に分かれて実施している児童クラブを小学校内にまとめる
・保育園2園を統合することで、低年齢幼児保育や延長保育が実施可能な規模の園を整

A 多世代交流の拠点をつくるプラン



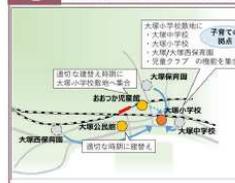
特徴/課題
・小中学校、公民館、保育園が1か所に集まることで、地区の多様な生き生きとした拠点となる。
・保育園から中学校まで1か所に集まることで、合同行事の実施や異なる年齢層の繋がり・交流が期待できる。
・地区の西側の民館の施設へのアクセシビリティが低下する。
・現在、避難所指定されている市の施設が地区の東端に寄ってしまう。(※市の施設とは別に県立蒲郡東高校が避難所指定されています。)

B 災害時の避難所を確保するプラン



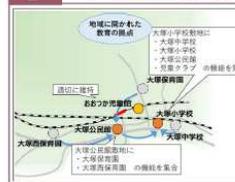
特徴/課題
・小中学校、公民館が集まることで地域に開かれた教育の拠点が整備される。
・大塚西保育園敷地に保育園が集まることで、地区の西側の避難所として活用できる。
・保育園と児童クラブが離れてしまうため、両方を利用する保護者のお迎えの負担となる。
・大塚西保育園は現在も駐車場が足りない。(→保育園敷地北側大塚西運動広場の活用を検討します。)

C 子育ての拠点をつくるプラン



特徴/課題
・小中学校、保育園を(将来的に児童館も)集まることで、子育ての拠点が整備される。
・地域の中心に立地する公民館が現地で維持されることでアクセシビリティが保たれる。
・学校と公民館が別々に整備されるため、多世代交流を生むための工夫が必要となる。

D 子育てにおける利便性を確保するプラン



特徴/課題
・駅前かつ地域の中心にある公民館敷地に保育園を移転することで、保護者のお迎えの負担が軽減される。
・保育園の移転に伴い、周辺住民の生活環境の変化が懸念。
・公民館敷地は現在保育園が立地する敷地より狭く、駐車場の確保が課題。(→敷地南側にある産子山児童遊び場の活用を検討します。)

チラシでお知らせ